

市区町村名	愛媛県 砥部町	担当部署	企画財政課
		電話番号	(089) 962-7250

## 1 取組事例名

町財政の見える化 バランスシート探検隊～まちづくり体験塾

## 2 取組期間

平成 26～28 年度

## 3 取組概要

砥部町で平成 26 年から実施してきたバランスシート探検隊、平成 27 年度に実施したふせん紙仕訳ゲームや SIM2030in とべ、これらをコラボさせた「まちづくり体験塾」を平成 28 年 8 月に実施する。バランスシート探検隊は、施設別・事業別財務諸表といったデータを基に作成したレクチャーノートを手元に公共施設を巡り、老朽化や更新問題について考える。ふせん紙仕訳ゲームは町のお金の動きを仕訳から財務諸表ができるまでを分かりやすく理解してもらうものである。さらに、SIM2030 では参加者が架空のまちの幹部になって、減少していく財源の中、参加者同士が議論してまちづくりをゲーム感覚で体験していく。

## 4 背景・目的

地方自治体はこれから公共施設の老朽化や更新に係る費用の増加、少子高齢化による税収減や社会保障費の増大に直面する。住民にはこれらの課題を認識してもらい、財政状況が悪化する前に様々な議論に参加して欲しいと考える。しかし、財政の問題は数字を多く扱うため住民から敬遠されがちである。そこで、現地見学やゲーム的要素を取り入れ、イベント形式で楽しくこれらの問題を考えていく。

## 5 取組の具体的内容

参加者には、財務諸表や中長期財政計画などを活用し、人口ビジョンや公共施設の老朽化・更新問題なども含めて中長期的な視点からまちの財政状況を伝える。財務諸表の理解については普段の取引仕訳からどのようにしてつくられたのかをふせん紙を使って仕訳から財務諸表ができるまでを体験する。その知識をもって施設別財務諸表のデータを基にわかりやすくまとめたレクチャーノートを片手に、参加者はインフラ・ライフラインチーム、福祉施設チーム、学校チームに別れてそれぞれに関連する公共施設を巡り、老朽化や更新問題を考える。

さらに、SIM2030 では、参加者が架空の自治体の総務部長や財政部長、福祉部長などに任命される。そして、首長のマニフェストなどに沿って、与えられたミッションを遂行していく。事業の実施・中止、借金をする、しない、何かの事業をあきらめるなど次々と決断が迫られる。1 ラウンド 25 分で 5 年が経過する設定である。決断が遅れると、借金をすることとなり、借金が膨らみすぎるとゲームオーバーとなる。チームの意見がまとまれば、となりのチームに議会役を務めてもらい、行政側は議会に説明を、議会側は行政側の説明に納得できなければ予算案の否決を行う。



## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

バランスシート探検隊は千葉大学と習志野市が連携して始めた公共施設の現状を住民に理解してもらう事業で、SIM ふくおか 2030 は福岡市が開発した厳しい財政状況の中での自治体運営を疑似体験できる事業である。これらに財務諸表についてゲームを通じて理解する本町のふせん紙仕訳ゲームをコラボさせることで、現在、自治体が抱える問題を住民に分かりやすく、楽しく伝えることができる事業となる。

## 7 取組の効果・費用

地方自治体は人口減少時代に突入し、公共施設の更新に係る経費の増加や社会保障関係費の増大、税収の減少により自治体運営は厳しさを増していく。この事業を通じて住民と財政状況が良い段階からこれらの課題を議論しておくことは、とても有用である。公共施設の統廃合や複合化のほか、いろいろなシチュエーションでデータから現常把握をした住民と建設的な議論ができる環境を醸成することが可能である。この事業はそれらきっかけづくりと考えている。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

砥部町は自主財源が乏しいながらも県内でも比較的財政状況が良い自治体である。そのため現段階では投資的経費を抑制する状況になく、将来起こりうる厳しい財政状況も住民には対岸の火事のように感じられている。そのため、本事業に参画する住民が少なく、報道機関に取り上げられるケースが少ない。

## 9 今後の予定・構想

3か年にわたる取り組みで、将来の財政状況と施設の更新問題については住民に一定の情報提供ができたと考えている。今後はより住民の理解が深まる方策を模索していくことになるが、町の将来を担う子どもたちに自分の住んでいる町を考える機会を提供するため、町教育委員会と連携して小中学校でも出前授業を実施したい。

## 10 他団体へのアドバイス

この事業は、自治体が抱える課題を実体験とゲーム的要素を盛り込んで一つの流れで伝えていくことができる。分かりやすく、そして楽しく、学生からお年寄りまで楽しみながら自分の町の将来について考える機会を提供できる。

## 11 取組について記載したホームページ

<http://www.town.tobe.ehime.jp/soshiki/2/koukaikei-torikumi.html>